お知らせ

国土を整え、全力で備える
国土交通省
中国地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

＜同時資料提供先＞

平成３１年２月２６日

合同庁舎記者クラブ・鳥取県政記者会・島根県政記者会・岡山県政記者クラブ・広島県政記者クラブ・山口県政記者クラブ・山口県政記者会・山口県政滝町記者クラブ・中国地方建設記者クラブ

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」第１回及び第２回ピッチイベント（技術提案会）を開催します！

○橋やトンネル、堤防、ダム及び港、公園、下水道などインフラは、我々の生活や経済活動を支える基盤ですが、急速に老朽化が進み、維持管理・更新費用が増大しています。

○インフラ施設の管理者、とりわけ地方自治体は、限られた予算と技術系職員で対応せねばならず、より一層のインフラメンテナンスの効率化が求められています。

○インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」では、地方自治体が抱える施設管理に関する課題等に対し、複数の民間事業者が課題解決に繋がる技術等を紹介するピッチイベントを下記のとおり、開催します。※インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」の活動内容は次頁

【第１回ピッチイベント】プログラム詳細は別紙１（オモテ）

■開催日時：平成３１年　２月２７日（水）　13:30～16:30（予定）

■場　　所：広島合同庁舎４号館１３階共用９号会議室（広島市中区上八丁堀 6-30）

■**特別講演：ＪＡＸＡ 宇宙航空研究開発機構「宇宙からのインフラ維持管理」**

■課題（テーマ）：No.1 橋梁点検を支援する技術

No.2 塩害橋梁の塩害進行度の把握技術

【第２回ピッチイベント】プログラム詳細は別紙１（ウラ）

■開催日時：平成３１年　３月　４日（月）　13:30～16:30（予定）

■場　　所：鳥取県西部総合事務所 本館Ｂ棟２階 講堂（鳥取県米子市糀町 1-160）

■**特別講演：松江高専 大屋教授 「耐候性鋼橋梁の適切な維持管理に関する技術開発」**

■課題（テーマ）：No.3 舗装の損傷状況の実態把握

No.4 伸縮装置撤去時の騒音対策及び時間短縮

○中国地方整備局は、インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」の取り組みを支援しています。

（取材について）

当日は報道席を設けており、本会議の資料は会場にて配布いたします。報道席へご案内いたしますので、ご来場頂いた際は、受付までお越しください。

○問い合わせ先

【ピッチイベントの内容に関すること】　「ちゅうごく」ＨＰ　URL：http://www.cgr.mlit.go.jp/im/index.html

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員会（事務局）

（復建調査設計株式会社　保全構造部内）ＴＥＬ：０８２－５０６－１８１４

藤井（ふじい）　友行（ともゆき）（E-mail：jcim-chugoku@fukken.co.jp）

【インフラメンテナンス国民会議に関すること】

国土交通省中国地方整備局　ＴＥＬ：０８２－２２１－９２３１

企画部事業調整官　藤原（ふじわら）　博明（ひろあき）（内線３１１６）

広域計画課 課長補佐　平西（ひらにし）　邦裕（くにひろ）（内線３２１２）

【広報担当窓口】

広報広聴対策官　岩下（いわした）　恭久（やすひさ）（内線２１１７）

企画部環境調整官　井上（いのうえ）　和久（かずひさ）（内線３１１４）

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」 3つの活動内容

①インフラメンテナンスのベストプラクティス（好事例）の水平展開

・施設管理者（自治体等）が抱える維持管理の課題解決に向けた民間企業等のノウハウの情報交換を行うために1～5の取り組みを進める

1 ニーズ把握
・維持管理における自治体の課題収集

2 ワークショップ
・解決技術に関する企業と自治体の意見交換会

3 ピッチイベント
・課題を解決する技術の提案会

4 実用化を検証する現場実証実験

5 マッチング

②民間企業と連携した中国地方発の技術開発

・①の取り組みの成果として、異業種の連携や技術の融合（中国地方の企業間でのマッチングによる技術開発）

※マッチング案件に関する証明、認証、技術の裏付けを国が行うものではない

☆国民会議の活動による企業連携・技術マッチングの成果例☆

＜民民マッチング（企業の連携、技術の融合）＞

道路舗装面点検手法の確立・路面下情報の一元的管理・見える化

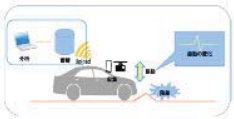
カメラによる舗装ひび割れ解析技術 TOSHIBA Leading Innovation（東芝インフラシステムズ） × スマートフォンによる平坦性把握技術 FUJITSU（富士通交通・道路データサービス） × レーダーによる空洞探査技術 川崎地質株式会社 Kawasaki Geological Engineering Co., Ltd.

→ 簡便な道路舗装面点検手法の確立・路面下情報の一元的管理・見える化を技術開発中
→ 点検の効率化

路面性状把握技術の海外展開

スマートフォンによる平坦性把握技術 FUJITSU（富士通交通・道路データサービス） × ASEAN地域における地図情報技術 Increment P FEEL THE SPACE（インクリメントP）

海外での技術適応性評価と新たな道路関連情報サービスの実現を目指し「舗装劣化状況把握技術の実証実験」をタイで実施(H28.12)



＜官民マッチング（現場試行等）＞

樹木管理技術

桑名市 KUWANA CITY × 応用地質株式会社

非破壊かつ、スピーディーに腐朽診断が可能な技術を試行（H29.2.9）

路面性状把握技術

浜松市 HAMAMATSU CITY × TOSHIBA Leading Innovation（東芝インフラシステムズ）

カメラによる舗装ひび割れ解析技術を試行し、約30kmの解析を実施（H29.2.23）

下水道点検調査技術

岡崎市 OKAZAKI CITY × 豊橋市 TOYOHASHI CITY
株式会社カンツール

下水道本管から取付管を調査するTVカメラシステムを試行（H29.2.15/16）

橋梁点検診断の技術力向上

中津川市 NAKATSUGAWA CITY × 大日コンサルダント株式会社

隣接市との橋梁点検診断の官民連携勉強会の試行（H29.2.17）

道路の路面及び路面下の性状把握技術

墨俣区 × カナン地質
足立区 岩根研究所

地中レーダ＆全周囲カメラを用いた地下と地上の全方位３次元マッピング技術を現場試行（H29.4.24）

局部的損傷の点検・診断・措置の一貫技術

浜松市 × 埼玉県 × NICHIREKI

局部的な損傷にあわせた点検・診断のﾒﾝﾃﾅﾝｽｻｲｸﾙ一貫ｼｽﾃﾑを試行し、100kmの点検・診断・措置を実施
【H29.4.19/20、5.11/12、6.6/7(浜松市)7.3～(郡山市)】

橋梁点検支援技術

阪南市 × NME 研究所

梯子・足場の設置等が困難で長時間の通行止が不可能な橋梁に対し、狭幅員橋梁に用いる移動式検査路を活用した点検を試行（H29.10.12）

高機能排水性舗装技術

埼玉県 × GAEART

冬季凍結の事故対策として、カーブ、坂対策のための舗装を実施（ｸﾞﾙｰﾋﾞﾝｸﾞ工法の比較）（H29.11下旬）

③地域における市民等の連携の推進

・地域における技術者育成の活動支援（三方良しのフィールドイベント開催等）
・インフラやメンテナンスへの関わりを深めるための実践活動を展開（継続的な市民参画型イベント等の実践）

☆「産学官で取組む『岡山工業高校・津山工業高校・笠岡工業高校　道路パトロール隊』」☆

活動は、地元紙・業界紙、TVﾆｭｰｽなどで取り上げられている

生徒自らが点検を行い、異常箇所を写真撮影し、報告

事前に講習を受け点検を行う際のポイントを学ぶ

別紙１（オモテ）

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」
第１回ピッチイベント

開催日時・場所

平成31年2月27日（水） 13:30～16:30 （13:00より受付開始）

広島合同庁舎 共用9号会議室（4号館13階） （広島市中区上八丁堀 6-30）

プログラム

1．開会の挨拶（13:30～13:40）

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」 フォーラムリーダー 藤井 堅
（広島大学 大学院 特任教授）

2．特別講演（13:40～14:10）

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構
第一宇宙技術部門 衛星利用運用センター 技術領域主幹 冨井 直弥 氏
「宇宙からのインフラ維持管理」

休 憩（14:10～14:20）

3．プレゼンテーション（14:20～16:10）

（1） 課題（ニーズ）の概要説明と留意事項
インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」 企画委員リーダー 藤井 友行

（2） プレゼンテーション
自社製品やサービスの紹介希望者（全9社）

4．講評（16:10～16:20）

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」 メンター 宮本 文穂
（山口大学 名誉教授）

5．閉会の挨拶（16:20～16:30）

国土交通省 中国地方整備局 企画部 事業調整官 藤原 博明

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」
第2回ピッチイベント

開催日時・場所

平成31年3月4日（月） 13:30～16:30 （13:00より受付開始）

鳥取県西部総合事務所 講堂（本館B棟2階） （鳥取県米子市糀町 1-160）

プログラム

1．開会の挨拶（13:30～13:40）

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」 フォーラムリーダー 藤井 堅
（広島大学 大学院 特任教授）

2．特別講演（13:40～14:10）

独立行政法人 国立高等専門学校機構
松江工業高等専門学校 環境・建設工学科 教授 大屋 誠 氏
「耐候性鋼橋梁の適切な維持管理に関する技術開発」

休 憩（14:10～14:20）

3．プレゼンテーション（14:20～16:10）

（1） 課題（ニーズ）の概要説明と留意事項
インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」 企画委員リーダー 藤井 友行

（2） プレゼンテーション
自社製品やサービスの紹介希望者（全11社）

4．講評（16:10～16:20）

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」 メンター 宮本 文穂
（山口大学 名誉教授）

5．閉会の挨拶（16:20～16:30）

国土交通省 中国地方整備局 企画部 事業調整官 藤原 博明